

平成27年度まちづくり月間  
「まちづくり功労者国土交通大臣表彰」について

国土交通省では、住民の積極的な参画の元に創意と工夫を生かしたまちづくりを推進することを目的として、昭和58年度から毎年6月を「まちづくり月間」と定め、まちづくりについて住民の理解と協力を得るため、様々な啓発活動等を幅広く実施しています。その中の中央行事において、魅力あるまちづくりの推進に努め、特に著しい功績のあった個人又は団体（地方公共団体を含む）をまちづくり功労者として、国土交通大臣が表彰しています。

このほど、「まちづくり月間国土交通大臣表彰」において、石川県から「寺町台まちづくり協議会」、「大川やわらぎ街道まちづくり協議会」、「蔵谷 清元氏」の3件が表彰されることとなりました。

【表彰式概要】

1. 日 時： 平成27年6月12日（金） 13：30～
  2. 場 所： すまい・るホール  
（東京都文京区後楽1-4-10 住宅金融支援機構内）
  3. 受賞団体： 寺町台まちづくり協議会  
大川やわらぎ街道まちづくり協議会  
蔵谷 清元氏
  4. 功績概要： 別紙のとおり
- ※ 今年度、全国で27件受賞  
※ H26年度の石川県内の受賞  
・金沢東山・ひがしの町並みと文化を守る会

平成27年6月11日  
石川県土木部都市計画課  
担当 田中  
内線 5206  
外線 225-1757

## ■受賞者：寺町台まちづくり協議会

### 【功績概要】

金沢を代表する寺院群のひとつである「寺町寺院群」のまちなみと文化を守るため、「寺町寺院群を巡る会」を年3回実施し、住民と地域の歴史や文化を学ぶ活動を行っている。寺社と住民の関わりを増やし、寺社の積極的な活用・振興を図ることで、重要伝統的建造物群保存地区としてふさわしいまちづくりに広く寄与している。

### 【功績内容】

平成19年に、「寺町台まちづくり協議会」を発足し、寺町寺院群を巡る会やまちづくりニュースの発行を継続的に実施し、寺町台地区の歴史・文化に関する研究や普及・啓発活動を行ってきた。

こういった取り組みで地域のまちづくりに貢献してきた結果、平成24年には、寺町台地区が重要伝統的建造物群保存地区に選定され、国の文化財となった。これをきっかけに、歴史資産を活かしたまちづくりへの取り組みが一層活性化し、今までは敷居の高かった寺院も地域に開放するようになり、地域の子供やお年寄りが境内に集うようになった。

### 【参考／寺町台まちづくり協議会のこれまでの実績】

- ・まちづくりニュースの発行 16回
- ・寺町寺院群を巡る会の開催 22回（年3回開催）

### 【団体に関する問い合わせ】

金沢市都市整備局都市計画課 TEL220-2353（担当：山田氏）

活動内容に関する写真



寺町寺院群を巡る会



寺町寺院群を巡る会



寺町サミットでの事例発表



子供たちとの鐘つき



全国伝統的建造物群保存地区協議会研修会への参加



阿弥陀如来坐像



旧鶴来道沿いのまちなみ



旧野田道沿いのまちなみ

## ■受賞者：大川やわらぎ街道まちづくり協議会

### 【功績概要】

当該地区は、梯川に隣接しており、国の直轄河川改修工事、石川県主体の小松大橋架け替え及び道路拡幅と大川町にとって大きく周辺環境が変化することとなり、地元としてこの機会をチャンスと捉え、新たなまちづくり構想を作成した。その際、住民が主体となってまちづくり、まちづくり計画を行い、現在、北国街道の歴史文化を継承した町並み景観が完成した。

### 【功績内容】

1. 大川まちづくり協議会発足
  - ・道路拡幅によるまちなみ再生のための各種活動
    - 北国街道の歴史景観の保存
    - 道路嵩上げに伴うまちなみ再生を目的にした沿道土地利用計画策定
    - 奥の細道にまつわる先進地視察
  
2. 大川やわらぎ街道まちづくり協議会へ発展
  - ・住民主体のまちづくり協定策定
  - ・工事中のイメージアップ（工事場に子供たちの絵画を設置）
  - ・埋蔵文化財見学会開催
  - ・松尾芭蕉ゆかりの地にちなんだ句会開催

### 【団体に関する問い合わせ】

小松市都市創造部まちデザイン第1課 TEL0761-24-8100（担当：國本氏）

活動内容に関する写真



まちづくり協議会総会風景



工事中ストリートギャラリー



大川遺跡現地説明会



子供俳句体験室



JAZZアーティストと中学ブラスのコラボ



「奥の細道結びの地」大垣市視察



小松大橋完成の渡り初めイベント



大川やわらぎ街道の完成町並み

## ■受賞者：蔵谷清元氏

### 【功績概要】

同氏は、かほく市(旧高松町)が石川県畜産試験場跡地に誘致した石川県立看護大学の門前街となる高松北西部土地区画整理事業において、同土地区画整理組合事務局長として持ち前の手腕を発揮し、一時停滞した保留地完売と同事業の完成に至り、かほく市の定住促進とかほく市学園台のまちづくりに多大な貢献した。

### 【功績内容】

平成8年に東善作研究会を設立、東善作氏の功績を称え、これまでに「石川県紙ひこうき大会 in かほく」や「冬の味くらべ」など、かほく市の各種まちづくりを企画実践した。

平成12年4月開学した石川県立看護大学の門前街を形成する高松北西部土地区画整理事業(約350区画の宅地造成)において、平成15年分譲開始後、全国的に土地の下落するなか保留地117区画中残る保留地90区画の販売が停滞していた。

平成19年4月より、かほく市高松北西部土地区画整理組合事務局長を担当、民間事業者も敬遠する保留地の販売促進策として学園台販売推進委員会を立上げ、昼夜・休日を問わず接客、土地区画整理事業によるまちづくりの有効性や地域の特性に関する建築アドバイス、地権者説明など7年足らずで事業完成に至った。

又、平成22年度、施工前4世帯の地域に転入者の増加に伴い、平成23年3月かほく市56番目の学園台自治会設立をサポートした。平成27年1月末181世帯490名が暮らす地域に変貌し、学園台を核とするまちづくりが実現した。

### 【団体に関する問い合わせ】

かほく市産業建設部都市建設課 TEL283-7104 (担当：富沢氏)

活動内容に関する写真



土地区画整理事業完工式典



学園台の街並み



学園台の街並み



学園台1号公園に設置したシンボルモニュメント